

警察庁プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出状況について（令和5年度結果）

1 プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量

種 別	年 度	令和4年度	令和5年度	前年度比
プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量（t）		245.3	222.2	-9%
廃プラスチック類（※1）		149.6	158.5	6%
ペットボトル（※2）		53.7	31.8	-41%
その他の廃プラスチック類（※2）		42	31.9	-24%

※1 処理業者に処理を委託した産業廃棄物で、実測若しくは産業廃棄物管理票（マニフェスト）の重量を排出量として算定
他の種類の産業廃棄物との混合物であって、廃プラスチック類を分けられない場合には混合物全体の量を排出量として算定

※2 当該自治体の判断で一般廃棄物とあわせて処理することが可能な産業廃棄物で、実測若しくは排出時に使用したごみ袋の容量等から排出量を算定

2 プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出の抑制、再資源化等の主な取組

- マイボトルやマイバッグ等の使用を職員に促した。
- ゴミ集積場所に、自治体の分別ルールを記載した掲示を行い、職員に周知した。
- 会議等の機会を通じて、職員にプラスチック資源循環促進法の趣旨や排出抑制等について教養した。
- ファイル類の再利用やエコマーク製品等を使用するよう指導した。
- 排出量の推移に関する資料を作成するなど、「見える化」を推進した。